

慶應義塾大学の鶴浦恵准教授にお話しいただきます。

曹操、劉備、孫権、孔明、関羽、張飛らの活躍する「三国志」の世界!!!

中国の後漢王朝滅亡から西晋王朝成立までの時代は、魏・呉・蜀の鼎立する「三国志」の時代として日本でも特に知名度が高く人気があり、小説や漫画、ゲームなど様々なメディアを通して三国志の物語が作られ、中には日本独自のストーリーやキャラまで造られています。



そんな「三国志」ですが、日本では「三国志」は一般的に明代の小説『三国志演義』に基づいた物語を指すことが多く、そしてそれは西晋時代に編纂された歴史書の『三国志』とはかなり違うものであることは意外にも知られていません。そこでまず歴史書『三国志』から小説『三国志演義』ができるまでの経過をそれぞれの内容とともに講師に説明していただきます。

また、『三国志演義』がどのように中国と日本の社会に浸透していったか、人々はどんな風に物語を楽しんでいたかを紹介していただきます。

この講義をいただくのは、昨年慶應義塾大学に赴任された若手研究者鵜浦恵さんです。この分野の第一人者に教えていただけることとなりました。是非、ご期待ください。



2023 年 10 月 29 日 (日) 14:00- 参加費 500 円

駐健保会館中会議室 (TEL03-3452-3461、三田駅歩 5 分・赤羽橋駅歩 10 分)